



「ふたりいっしょに いるだけで、よくしているはずの
もりが もっとひろく
もっとふかくなっていくのでした。」

くろりすくんとしまりすくん

いとう ひろし／作・絵 講談社 94p F/I



くろりすくんと しまりすくん
は ふたりとも りす なのに、
とくいなことや すむばしょ
が ぜんぜん ちがう。

きたのもりで であい、
なかよくなっていく ふたり
の 一年をよんでみよう。



「じいじがエリックのへやへやってきたのは、その夜のことでした。」

おじいちゃんが おばけになったわけ

キム・フォップス・オーカソン／文
エヴァ・エリクソン／絵
菱木 晃子（ひしき あきらこ）／訳
あすなろ書房 31p 加/E/I



しんでしまった じいじが、
おばけになって もどってきた。

『おばけの本』によると、
この世に わすれもの
があるみたい。

じいじの わすれものを しらべにいこう。



1. 2年生向き

ねんふゆやす

としよ

2022 年冬休みすいせん図書

ふゆやす としよ
冬休みは、しっかりと読書!!



でんしとしょかん
も よんでみてね。

おいそまちでんしとしょかん
大磯町電子図書館

<https://web.d-library.jp/oiso/g0101/top/>



おいそ ちよう りつ と しよ かん
大 磯 町 立 図 書 館





「^{あらし}嵐の^{おお}大ネコが、^{みなと}港にかくれている^{ふね}船に、

おそいかかろうとしていたのです。」

嵐をしずめたネコの歌

アントニア・バーバー／^{きく}作

ニコラ・ベイリー／^え絵 おびか ゆうこ／^{やく}訳

徳間書店 62p F3/ハ



むかし、モーザーと
いうネコが ^{りょうし}漁師の
トムと すんでいた。

ある冬、^{ふゆ}〈嵐の大ネコ〉があばれ
だして、^{あらし}漁師たちは ^{おお}魚をとるこ
とが できなくなりました。

だんだんと^た食べるものが なくなるなか、モーザーはトムと
いっしょに ^{あらし}〈嵐の大ネコ〉に ^{おお}たちむかう。



「やがて いえに かえってきた おじいさんと おばあさんは、
びっくりしてしまいました。」

かものむすめ

松谷（まつや） さやか／^{やく}訳

オリガ・ヤクトーヴィチ／^え絵

福音館書店 31p カミ/E/ヤ



ある^ひ日、おじいさんと
おばあさんは もりで
けがをしている かも
を みつけて、 つれて
かえた。

その^ひ日から、^で出かけて いえに
かえると、ふしぎなことが
おこるようになった。

ウクライナにつたわる おはなし。



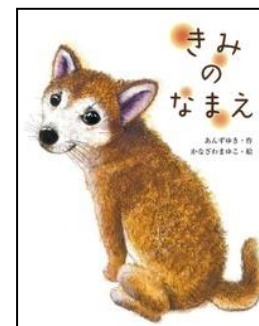
「^{はやし}林の^{ちか}近くの^{けい}掲示板にはり紙を^{しほん}すると、^{がみ}いろんな人から^{ひと}電話が^{でんわ}

かかってきました。」

きみのなまえ

あんず ゆき／^{きく}作 かなざわ まゆこ／^え絵

佼成出版社 64p F/7



^{がっこう}学校のかえりみちで
みた ^の野良犬のことが
きになる たくと。

^{かあ}お母さんに はなすと、うちで
かうことになった。

どうやったら うちに つれてくることのできるのかな。



「ちいさいおうちが あたりを ながめて くらすうち、とき
は どんどん たっていって、それといっしょに まわりのけ
しきも かわりました。」

ちいさいおうち

ばーじにあ・リー・ばーとん／ぶんとえ

いしい ももこ／やく

岩波書店 40p カ/E/ハ



じょうぶに たてられた
ちいさい きれいなおうち
は、 うつくしい しぜんを
ながめて くらしていた。

ところが ある^ひ日、ちいさな
おうちの まわりを じど
うしゃが はしりはじめた。